保育所へ誤支給の5億円　東京都葛飾区、返還求める

#東京 #サービス・食品

2022/9/2 18:49

東京都葛飾区の青木克徳区長（中央）は園長会で謝罪した（1日）

東京都葛飾区は、私立の認可保育所72施設に補助金計5億1181万円を誤って支給したとして返還を求めている。パートタイムの保育士を対象とした加算額を2018年度から4年間、約2倍の人数で算出したため。区は返還を求めない方針だったが、転換した。

問題が発覚したのは22年3月。4241万円を誤支給した保育所もあった。これまで区は人件費として使われた分の返還を求めない考えを表明していたが、専門家の法的見解を踏まえて「返還請求権を行使せざるを得ない」との結論に至った。

青木克徳区長は9月1日、区私立認可保育所の臨時園長会に出席し「様々な可能性を検討したが、返還を求める判断となった」と頭を下げた。同会の終了後、青木区長は記者団の取材に「返済について保育所が本当に困っているとひしひし伝わってきた。十分相談しながら返済計画を立てていく」と述べた。

園長会の終了後に記者団の取材に応じる葛飾区私立保育園連盟の鈴木康之会長（1日）

一方、区私立保育園連盟の鈴木康之会長は「運営に支障が出ない返済ペースは個々の保育所で異なる。区には丁寧に話を聞いてほしい」と求めた。

誤支給を巡る区の調査では保育所側のミスも見つかった。保育所が過去4年間に提出したパート保育士延べ約6500人のうち、94人は実際に勤務していなかったという。

区子育て支援課の担当者は「申請時点で雇用契約を結んでいたか、派遣を受ける予定だったが、体調不良などパート保育士が出勤できなくなる事情があった」と説明した。区側のミスで過剰に支給した額に含めて保育所に返還を求める。

青木区長は一連の問題の責任を取るために、区長の給与を20%減額（3カ月）、副区長は10%減額（同）する条例案を9月の区議会に提出する意向だ。